

令和7年度 陸別小学校 1学期の学校評価のまとめ【完成版】

令和7年10月 陸別町立陸別小学校 校長 小田 浩平

☆皆様のご協力により各項目の分析が終了し、1学期の学校評価アンケートが完成しました。
ご自身の分掌に関わる項目はもちろん、全ての項目に目を通していただき、後期の教育活動に生かしていただければと思います。

○ 成果の判断の目安

85%以上:A

75～84%:B

61～74%:C

60%以下:D

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

1. 個別最適な学び【新しい時代に必要となる資質・能力】（研修）

	質 問 項 目	今回
低	ペンキようでわからないことがあったら、せんせいやともだちにきいていますか。	81%
中	勉強で新たに気づいたことやわからなかったことをふりかえりに書いていますか。	88%
高	勉強で新たに気づいたことやわからなかったことをふりかえりに書いていますか。	67%

研修：ふりかえりという視点でのアンケートであることから、データ＝個別最適な学びとはならないと考えるが、自己調整を行う上で、重要な視点であることは確かである。計画したことを、実践し、振り返りを行うというサイクルを教員も子どもたちも身に付けていきたい。

2. 協働的な学び【新しい時代に必要となる資質・能力】（研修）

	質 問 項 目	今回
低	がっこうのじゅぎょうでは、たくさんはっぴょうしていますか。	95%
中	クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を活発に発言していますか。	69%
高	クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	81%
保	お子様は、自分の意見や考えを人に積極的に伝えていきますか。	78%
教	子どもたちは、クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	100%

研修：低学年に比べ、中学年が低いのは、ただ発言するのではなく、教員に求められている意見が言えなかったと感じている児童が多いように考える。このことから、学習が受け身となっていることがわかり、今後の研修の進み具合に折り、学習を自分事と捉える児童が増えれば、この項目の割合も高くなっていくと考えます。

3. 自己肯定感【豊かな人間性】（教務）

	質 問 項 目	今回
低	ペンキようやうんどう、ならいごとなどで、じまんでできるとくいながありますか。	81%
中	自分のいいところを、いくつか言えますか。	75%
高	自分にはいいところがあると思いますか。	76%
保	お子様には、いいところや得意なところがあると思いますか。	100%
教	子どもたちはそれぞれ、自分のいいところや得意なことをもっていると思いますか。	92%

保護者と教員が高いが児童は高くない結果から、大人から児童の良さをもっと伝えていく必要があると考える。学習面、運動面に限らず、生活面でも小さなことから一人一人のよさを見つけて、それを発信することが大切なのではないだろうか。

4. 挨拶【豊かな人間性】(指導)

	質 問 項 目	今回
低	じぶんから、「おはようございます」「こんにちは」とあいさつしていますか。	95%
中	知っている人に会ったときは、自分からあいさつをしていますか。	100%
高	知っている人に会ったときは、自分からあいさつをしていますか。	100%
保	お子様は、家族や近所の人に、しっかり挨拶していますか。	78%
教	子どもたちは、挨拶をしっかりしていますか。	54%

児童は挨拶について高い意識をもち、中・高学年では全員が「できている」と答える一方、保護者や教職員の評価はやや低い結果になっている。これは、声の大きさや表情などの受け止め方の違いが要因だと考えられる。今後は、大人が率先してよい挨拶を示し、家庭・地域・学校で連携して挨拶の習慣をさらに広げていくことが大切である。

5. 感謝【豊かな人間性】(指導)

	質 問 項 目	今回
低	「ありがとう」「ごめんなさい」をじぶんからすすんでいっていますか。	100%
中	「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。	94%
高	「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。	86%
保	お子様は、「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。	85%
教	子どもたちは、「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。	77%

各学年でおおむね「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から伝えている。そういった姿がご家庭でも見られているのはいい傾向だと思われる。教職員から見ると、学校生活内でのあらゆる関わりを見るときでは進んで言えていない場面を見かけることがあるので、他人との関わりの中でどんな言葉でどんな気持ちで伝え

6. ヘルスリテラシー【健康でたくましい体】(指導)

	質 問 項 目	今回
低	はやねはやおき、すききらいにきをつけていますか。	90%
中	早ね早起きや好ききらいに気をつけて生活していますか。	88%
高	食事やすいみんなど、生活のリズムに気をつけて生活していますか。	71%
保	お子様は、食事や睡眠など、自ら進んで健康に気をつけて生活していますか。	52%
教	子どもたちは、自分の健康に気をつけて生活していますか。	69%

低・中学年は高い意識をもって生活しているが、高学年になると習い事・遊びの幅が広がり、睡眠や生活リズムの自己管理が難しくなっている。保護者の評価が特に低く、子ども自身の意識とのギャップが大きい。家庭での生活習慣作りに課題がある可能性もある。今後は、学校での健康教育と家庭での生活リズムづくりの連携強化が必要である。

学びの機会を保障し質を高める環境の確立

7. 相談【安心して過ごせる居場所】(指導)

	質 問 項 目	今回
低	かなしいことやこまったことがあったとき、せんせいにおはなしできますか。	90%
中	つらいことや、こまったことを、学校の先生に相談できますか。	63%
高	つらいことや、こまったことを、学校の先生に相談できますか。	52%

学年が上がるにつれ、「先生に相談できる」と答える割合が減少していることがわかる。低学年では先生を頼りやすい一方で、中・高学年では「友達に話す」「恥ずかしい」「分かってもらえないかもしれない」などの理由から、相談がしにくくなると考える。児童との信頼関係を築き、相談しやすい仕組みを作っていくことが課題である。

8. 心理的安全性【働きやすい職場】(管理)

	質 問 項 目	今回
教	職員室では、自分の考えを発言したり、他の先生に相談したりなど安心して働くことができますか。	100%

担当だけに任せるのではなく、学年団や低・高学年のチーム、各分掌など、様々なユニットにおいて互いに協力し合いながら、またわからないことは相談し合いながら、業務を進めることができていると感じる。今後も本校の教職員の「強み」を生かしながら、業務推進にあたるようにしていきたい。

9. 校務効率化【働きやすい職場】(管理)

	質 問 項 目	今回
教	ICT等を活用し、校務が効率的に推進されていますか。	100%
授業での効果的なICTの活用やスプレッドシート等での情報共有、生成AIの活用などによってペーパーレス化や時間短縮が進み、効率的な校務推進につながっている。今後もさらに効率化を図る場面を模索し、改善できることから取り組んでいく。		

10. 教員の主体的な学び【働きやすい職場】(研修)

	質 問 項 目	今回
教	校内外の研修に主体的に参加し、自身のキャリアアップに生かせていますか。	77%
研修:今年度の校内研修に関しては、個人ごとの課題となっていることから、この項目の%が研修の評価となると捉えている。ホワイトボードでの日常活動や一斉での研修など、先生方個人の実感につながるよう進めていきたい。		

家庭・地域と歩む持続可能な教育の実現

11. 家庭学習【家庭や地域との連携】(教務)

	質 問 項 目	今回
低	かていがくしゅうをわすれずにしていますか。	90%
中	自分からすすんで家庭学習をしていますか。	75%
高	自分からすすんで家庭学習をしていますか。	76%
保	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	52%
教	子どもたちは、家庭学習にしっかり取り組んでいますか。	46%
大人の評価と児童の差が見られるのは、大人から声をかけないと家庭学習に取り組まないこともあると考える。特に低学年は、家庭の協力が必要なので、保護者に対しても家庭学習の重要性を周知していく必要がある。中学年、高学年は、児童に対して家庭学習の重要性を常に伝えていながら、どのような学習をすればいいか方法を教えていくことが大切だと考える。		

12. 地域との連携【ふるさと陸別への愛着】(管理)

	質 問 項 目	今回
低	おまつりやイベントなど、ちいきのぎょうじによくさんかしていますか。	100%
中	お祭りやイベントなど、地いきの行事によくさんかしていますか。	94%
高	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。	95%
保	お子様は、地域の行事やイベントによく参加していますか。	81%
陸別鉄道祭り、子どもカフェなどお祭りやイベントに多くの子どもたちが参加している。これまで実施した収穫体験や森林学習、乗馬体験、また今後実施する天文台学習、酪農体験、しばれフェスティバルなどにおいて地域と連携し、「りくべつ学」を通してふるさと陸別への愛着を育んでいきたい。		

目指す学校像

13. 学校改善への努力(管理)

	質 問 項 目	今回
低	じぶんが「しゅじんこう」としてかつやくできたことはありませんか。それは、どのようなことですか。	90%
中	自分が「主人公」として活やくできたことはありませんか。それは、どのようなことですか。	75%
高	自分が「主人公」として活やくできたことはありませんか。それは、どのようなことですか。	43%
教	子どもたちが「主人公」として活躍できたと思いますか。それは、どのようなことですか。	100%
どのようなことでかつやくできたか(記述式) 【低学年】 ・さっかあ ・だんすをがんばった。 ・りれーをがんばった ・そうじでみんなとやれてうれしかった ・りれー ・すいとうをとどけたこと ・きゅうしよくのおてつだい ・お友だちにやさしくできた ・てすとでがんばった ・ぼけもんふれんだで、すうばあとれじゃあとれてうれしかった ・うんどうかいでいちいをとった ・だんす ・はっぴょうしてるとき 【中学年】 ・逆上がり ・すいいのくろーのいきつきでできなかったのにできるようになった。 ・算数をいやけどががんばった。 ・すききらいをさいきんしてない。 ・ピアノが上手くひけないときにがんばった。 ・しかいでまとめた ・運動会の応援団 ・運動会のダンスを恥ずかしかったけど、踊った。 ・劇 ・ひとがいないときにたすけた。 ・中心としての役目 【高学年】 ・運動会 ・走ることや、運動会 ・食育の授業で、代表でこんだてを発表した時。 ・サッカーで点をとった ・人助けとか ・おばあさんが困っていたのを助けた ・みんなを助けた時 【教職員】 ・4年生として下の学年の面倒を主体的に見たり、委員会などの場で主体的に発言したりする姿から ・一人一人自分の得意な事について自信をもって発表したり、表現したりしている。 ・運動会での子どもたちの達成感です。当日の子どもたちの表情を見て感じました。 ・運動会への取り組み、各学年の活動で自主的に動いている姿 ・授業、行事などで、自分が得意なところではつつつとしている姿が見られた。特に運動会では、走る、表現する、係りの活動、応援など、自分の得意とする事を出し切れる場面を見ることができた。 ・自分から学ぶ姿が見られた。 ・授業中に全員発表できる機会を与えている。また、当番活動や日直など全員に役割を与えている。 ・日常の中でできることが増えていくことに喜んでいる様子がみられるから ・高学年ということもあり、自分たちで考えたり、動いたりしたい姿が見られるため。 ・運動会で皆一生懸命に頑張ることができ、輝いていた ・人数が少ないため、一人一人に役割が与えられ、スポットが当たっていたと思います。先生方も一人一人が輝けるような指導を授業など様々なところで行っていると感じています。 ・運動会などの行事や普段の授業の様子から、それぞれの個性を発揮していと感じた。 ・自分の役割に真剣に取り組むことができていました。成功・失敗に関わらず、そのときにできることに全力で取り組んでいたと思います。		

教職員評価記述欄より

・子どもたちが楽しそうに過ごしているのは良いことなのですが、学校内での過ごし方が無秩序になってきている部分もあるように感じます。遊んでいい場所ときちんと過ごすべき場所の意識等は声かけしといったほうがいいのかと思いました。
3の「自己肯定感」の項目とも関連してくるが、子どもの記述から「主人公＝特別な場面で活躍した」という印象が強い。「人のために行動する姿勢」や、「目標に向かって粘り強く努力する姿勢」も立派な主人公であることを伝え、互いにその姿を認め合うことなど自己有用感を高める働きかけを継続的にやっていく。 教職員の記述の中で触れられていた「遊んでいい場所」と「きちんと過ごすべき場所」についての児童の意識向上については、公共施設でのマナー指導と合わせて、機会を捉えて継続的に指導していく必要があると考える。

1学期の保護者アンケート結果

遅くなりましたが、1学期の保護者アンケートの結果をお知らせします。お忙しい中、ご回答ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、指導の改善を図ってまいります。

お子様は、自分の意見や考えを人に積極的に伝えていますか。	78%
お子様には、いいところや得意なことがあると思いますか。	100%
お子様は、家族や近所の人に、しっかり挨拶していますか。	78%
お子様は、「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。	85%
お子様は、食事や睡眠など、自ら進んで健康に気を付けて生活していますか。	52%
お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	52%
お子様は、地域の行事やイベントによく参加していますか。	81%

※記述欄のご意見

【ご意見】エアコンの使用、熱中症対策について
【回答】エアコンについては、授業の担当教職員がその時々で適温になるよう調整しながら運転させていますが、児童の声も確認しながらより適切に判断するよう努めます。また、熱中症対策については、国の基準に基づいて活動制限などの対応をしていますが、活動後のリカバリー等も考慮に入れて取り組んでまいります。
【ご意見】給食指導について
【回答】食べられる量や苦手なものなど、児童の意思を尊重することを前提とした指導に努め、食べることの楽しさを感じられるようにしてまいります。
【ご意見】行事の土曜日開催を希望する
【回答】土曜授業の廃止、少年団活動や各家庭における週末の過ごし方の多様化などの観点から、学校行事をできるだけ平日に実施できるよう取り組んでおります。なお、運動会は次年度も土曜日に開催する予定です。

芸術鑑賞

2年ぶりの実施となった今年度は、「ひのき屋」による音楽鑑賞でした。

「鑑賞」としてもただ座って聞くだけではなく、一緒に歌ったり体を動かしたり・・・さらには右の写真にもあるように、代表の子どもたちや先生(!)による太鼓の実演もありました。

子どもたちにとっては、貴重な楽しいひとときだったようです。



令和7年9月3日

陸別中学校保護者 各位

陸別町立陸別中学校
校長 川 端 将 由

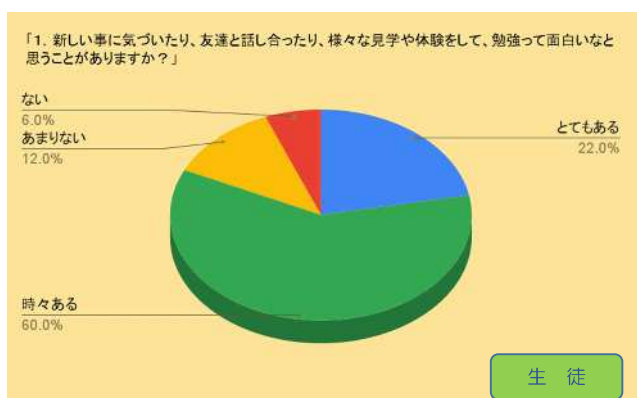
令和7年度 学校評価アンケート結果(前期)を生かした今後の学校運営について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度実施いたしました第1回目の学校評価アンケートの結果について比較分析を行い、まとめましたのでお知らせいたします。

今年度1回目のアンケート結果の考察・分析については、課題が見られる部分につきましては、後期の学校生活において改善が図られるよう取組を学校全体で行って参ります。今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。(回答者人数 生徒:50名 保護者31名 教員11名)

(子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進)

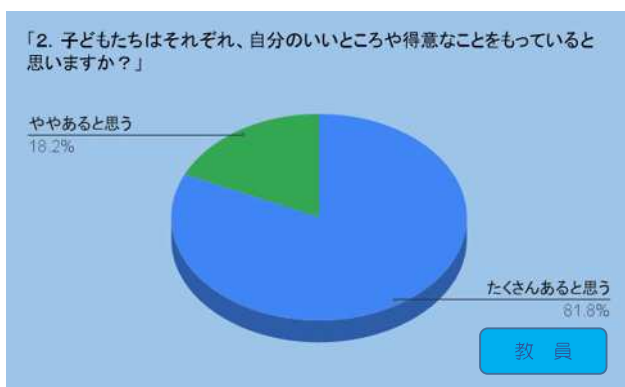
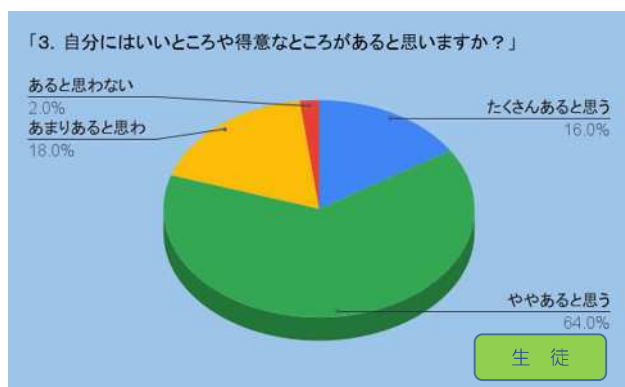


【とてもある・時々ある】の割合が8割を超えていることから、学校生活における友達との良好な関わりや対話、学習に関しての興味・関心は得られていると考えられます。今後も継続的な教育活動を展開し、【ない】と回答している生徒への改善を図っていきます。

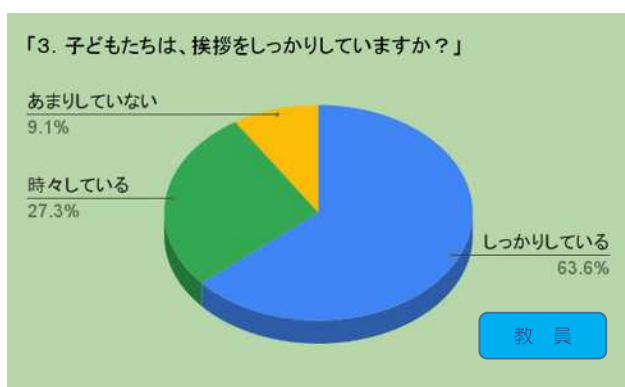
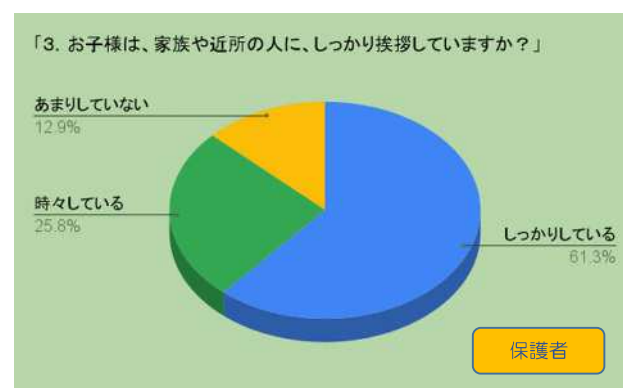
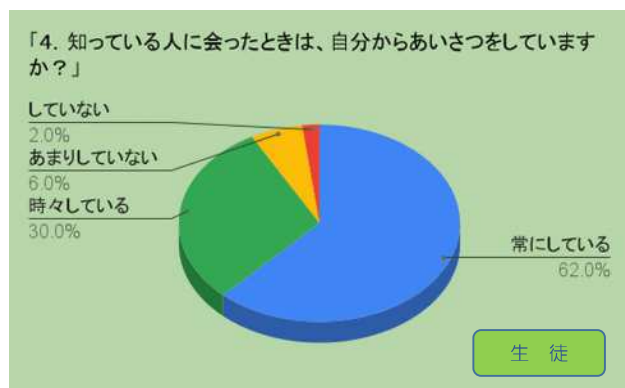


生徒・保護者の回答からは70%以上の上位区分の回答を得られています。しかし、生徒の【していない】4%、保護者の【伝えていない】3.2%の生徒たちに対してのサポートをしていかなければと考えています。自分の意見や考えを伝えられる場の設定を工夫したり、話しやすい環境作りに配慮していくなど、今後対策を講じてまいります。

(豊かな人間性)

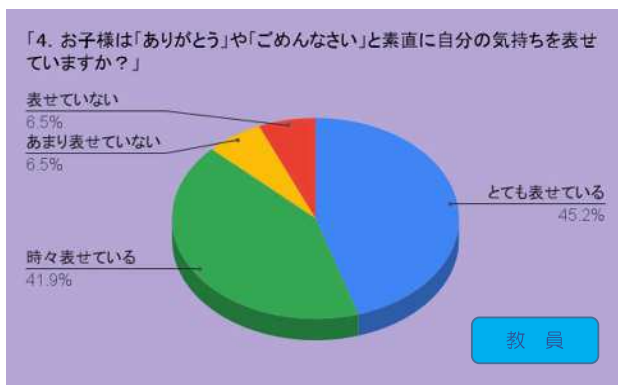
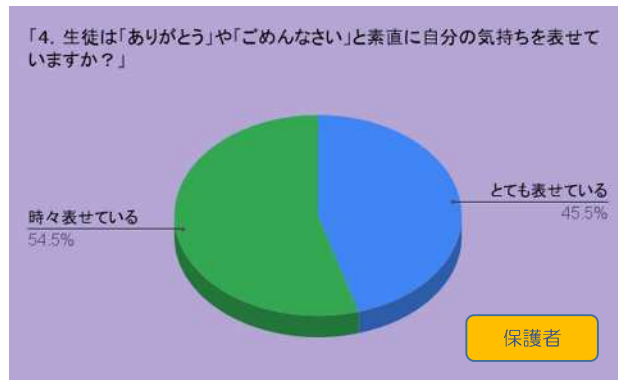
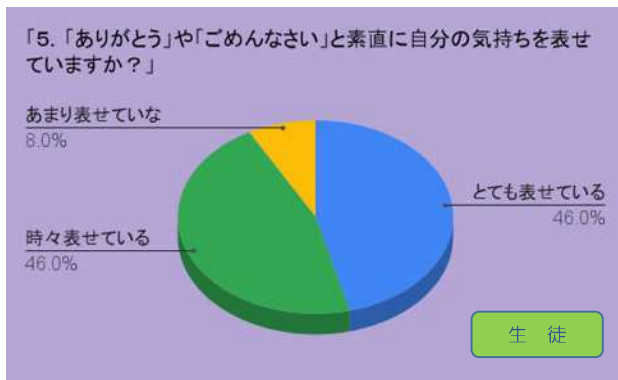


昨年度の第1回・2回目も自己肯定感といった項目でアンケートを実施しましたが、昨年度よりも、【たくさんある】の割合が多くなっています。特に保護者においては、【たくさんある】と同様の項目が2倍、教員については4.5倍と昨年2回目から大幅にアップしています。生徒・保護者の『あると思わない・ない』の回答が0になるよう今後教育活動を進めてまいります。



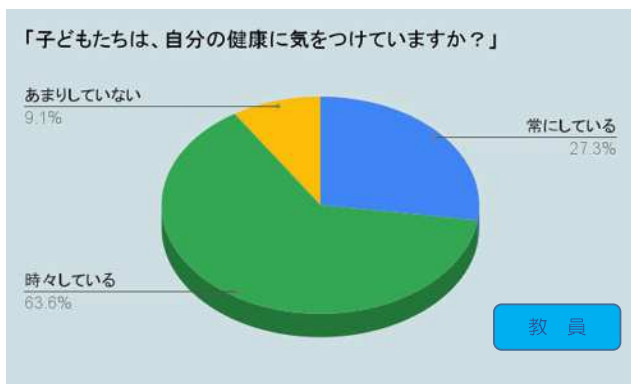
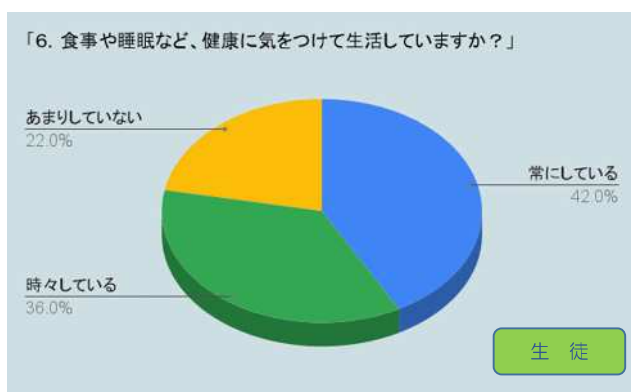
学校生活における挨拶の指導や生徒会を中心とした挨拶運動などにもより、生徒の挨拶に対する意識も向上していると考えられます。

ただし、生徒の【していない】の2%の生徒が自ら挨拶ができるようになるためこれからも継続した助言等をしていきます。



昨年度 1 回目から比較すると、【とても表せている】については、生徒は微増の値となっていますが、保護者(10%増)教員(30%増)となっていて、生徒の挨拶の様子を見ている方々の評価は上がっています。日常の挨拶や様々な人とのかかわりなどで、生徒の素直な気持ちをより表せるようになっていいると考えられます。

(健康でたくましい体)



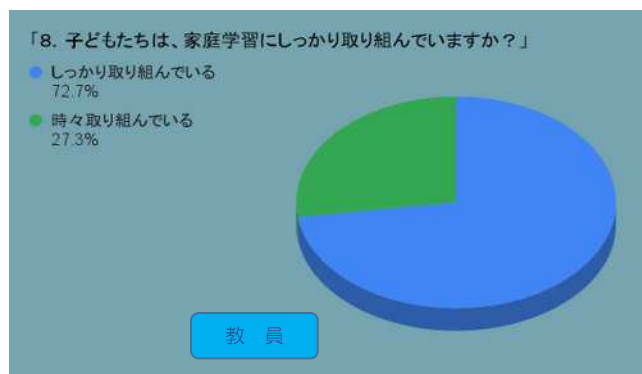
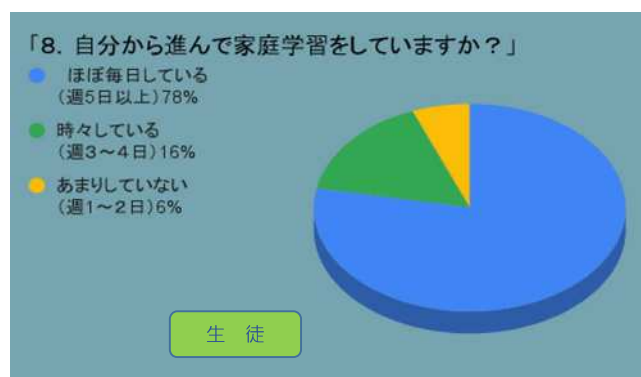
昨年度 2 回とは設問の表現や選択肢の違いがあるにせよ、生徒・保護者は【常にしている・時々している】の上位区分で10%～20%の減少が見られます。また、教員については同じ区分で微増どまりで、とても良い傾向とは評価できません。健康に関わる部分では少し課題が見られますので、健康に意識した学校生活を過ごすことが出来るよう今後サポートしてまいります。

（学びの機会を保障し質を高める環境の確立）



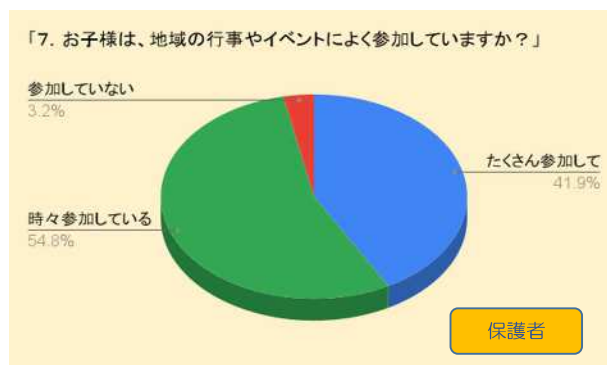
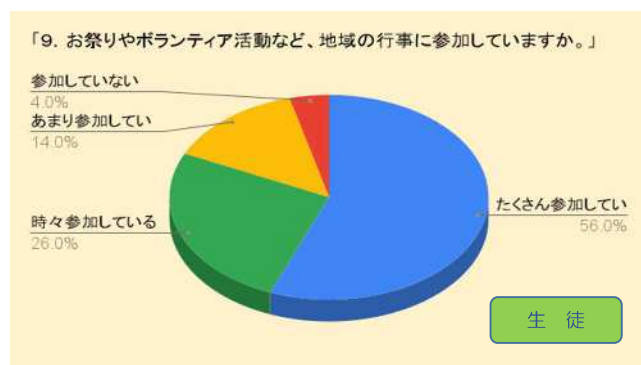
【とてもできている・時々できている】については、50%を超えているが、R6年度 1 回目の同様の質問の回答と比較すると、10%ほどの減となっている。設問の表現や回答の選択肢の数の違いがあるので正確な比較にはならないですが、相談のしやすい場の雰囲気作りに努めることや、相談の機会を増やしていくなど、生徒が困り感を解消できる環境を醸成していきます。

（家庭や地域との連携）



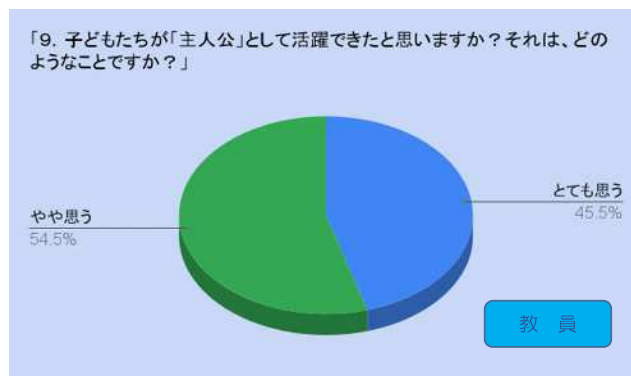
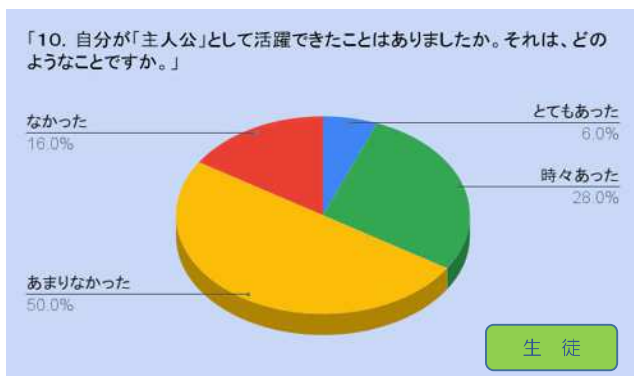
昨年度 1 回目から比較すると、生徒は【ほぼ毎日】が微増しています。また保護者・教員は昨年と設問の標記が若干違いますが、【とても身に付いている】などの上位区分は30%、教員の評価の上位区分も20%減となっています。家庭学習の取組の減少・停滞を改善する取り組みをこれから構築していきます。

（ふるさと陸別への愛着）



生徒・保護者の回答から、生徒がボランティア活動・地域の行事やイベントによく参加していることが分かります。保護者・地域や関係機関の方々に感謝しつつ、学校でもこれからも生徒が参加しやすくなるよう配慮していきたいと考えています。

（目指す学校像）



- ・ 体育祭で主将を務めたこと
 - ・ 体育祭や文化祭など
 - ・ 大会の時、みんなが応援しているなか頑張る姿の自分は主人公のようだったから
 - ・ なんかを決める時とか自分で進められた
 - ・ 体育でのバスケ
 - ・ イベントでリーダーシップをとったとき。
 - ・ 自分で活躍したところもあるけど、してないことが多い
 - ・ 部活で努力して勝った時
 - ・ サッカーで活躍したこと
 - ・ 入学式
 - ・ 小学生の頃のサッカーの試合で5点きめた
 - ・ 宿泊研修の実行委員長を務めたこと
 - ・ サッカーの試合でPKになった時に、僕がキーパーで止めて、勝利したこと。
 - ・ 自分の話で盛り上がったとき
 - ・ 体育祭でチーム主将でリレーのアンカーをやったこと
 - ・ 自分から進んでやって助かることや笑かすこと
 - ・ リレー
- 生徒

- ・ 委員会活動や体育祭など、子どもたち中心で話し合い、活動内容や順序を決め、目的意識をもって取り組んでいるから。
 - ・ 特に体育祭では、自分の役割をこなし、また、自身ができることを100%の力で発揮していたこと。
 - ・ 算数の授業中、先生の説明がわかって頷き、ノートにその式を書く時、満足気に記入する姿。学級の花壇に
 - ・ 水をやりたり草取りをした後、成長していく花壇を見ている様子は、「自分たちで（みんなの花壇）を作っているんだ」という自信に満ちている。
 - ・ 体育祭や部活動、学級レクの企画など
 - ・ 体育祭、文化祭
 - ・ 体育祭での様子を見ていると、チームの一員としても、個人としても一生懸命頑張っている姿が見えました。
 - ・ 体育祭など行事の際に目標に向かって主体的に活動しようとする姿を多く見ることができたため
 - ・ 1学年については、先生方の協力もあり、それぞれの先生と生徒がよく話す姿があります。自分の存在を認識されていない（主人公とは思わない）生徒は少ないと思います。
- 教員

生徒の【とてもあった】の回答がもっと多くなるよう、そして【なかった】の生徒が0になるよう、学校として生徒一人一人が輝き、充実した学校生活を過ごせるように教育活動を構築していきます。